

(新) かしわぎ公園について

目次

1.全体計画の考え方	…P1
2.遊具について	…P2
3.休憩空間について	…P6
4.築山について	…P7

目次

1.全体計画の考え方	…P1
2.遊具について	…P2
3.休憩空間について	…P6
4.築山について	…P7

■ 全体計画

誰もが気軽に立ち寄り、思い思いに過ごせる公園



① 遊具エリア

障がいの有無に関わらず、遊べるインクルーシブな遊び場を整備する



【遊具エリアイメージ】

② 地域交流エリア

地域の行事やイベント、スポーツ等、多目的な利用に対応できる芝生広場を創出する。



【地域交流エリアイメージ】

S=1/700 (@A3) N

0 30 45 60m

目次

1.全体計画の考え方	…P1
2.遊具について	…P2
3.休憩空間について	…P6
4.築山について	…P7

■ 遊具案

若草小学校の児童を対象に項目別に遊具のランキングをアンケートにて調査した。
その結果を踏まえて、4つの案を提案します。

A案

各項目ですべて1位の遊具

配置案

幼児エリアと児童エリアで分け安全性を確保しつつ、
どの年齢層も使える遊具を間に配置する

すべてのぼって
楽しめる遊具
(3～6歳向け)

すべてのぼって
楽しめる遊具
(6～12歳向け)

幼児エリア

児童用エリア

楽しい単体遊具

のぼってまわって
楽しめる遊具

配置図

すべてのぼって楽しめる遊具



(6～12歳向け)
1位/8個中



(3～6歳向け)
1位/4個中

のぼってまわって楽しめる遊具



1位/5個中

楽しい単体遊具



1位/7個中

■ 遊具案

若草小学校の児童を対象に項目別に遊具のランキングをアンケートにて調査した。
その結果を踏まえて、4つの案を提案します。

B案

遊具数を増やす

配置案

幼児エリアと児童エリアで分け安全性を確保した

すべてのぼって
楽しめる遊具
(3～6歳向け)

楽しい単体遊具

すべてのぼって
楽しめる遊具
(6～12歳向け)

幼児エリア

児童用エリア

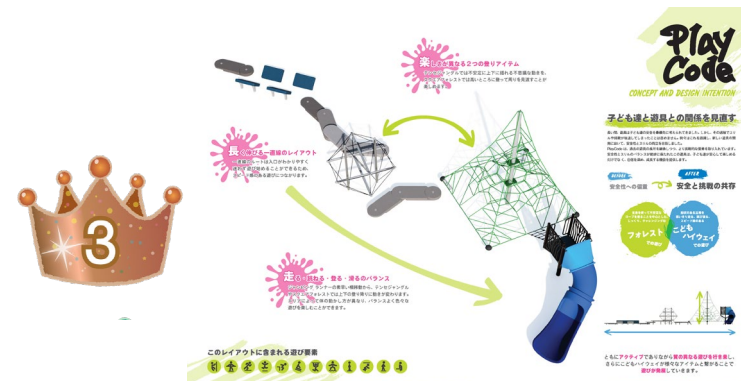
のぼってまわって
楽しめる遊具

楽しい単体遊具

のぼってまわって
楽しめる遊具

配置図

すべてのぼって楽しめる遊具



(6～12歳向け)
3位/8個中



(3～6歳向け)
2位/4個中

のぼってまわって楽しめる遊具



1位/5個中



2位/5個中

楽しい単体遊具



2位/7個中



3位/7個中

■ 遊具案

若草小学校の児童を対象に項目別に遊具のランキングをアンケートにて調査した。
その結果を踏まえて、4つの案を提案します。

C案

健康遊具を追加する

配置案

幼児エリア・児童エリア・健康エリアで分け
安全性を確保した

すべてのぼって
楽しめる遊具
(3～6歳向け)

楽しい単体遊具

すべてのぼって
楽しめる遊具
(6～12歳向け)

健康エリア

幼児エリア

健康遊具 3基

楽しい単体遊具

のぼってまわって
楽しめる遊具

児童用エリア

配置図

すべてのぼって楽しめる遊具



(6～12歳向け)
1位/8個中



(3～6歳向け)
2位/4個中

のぼってまわって楽しめる遊具



1位/5個中

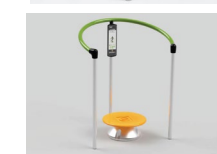
健康遊具



5位/7個中



6位/7個中



7位/7個中

楽しい単体遊具



1位/7個中



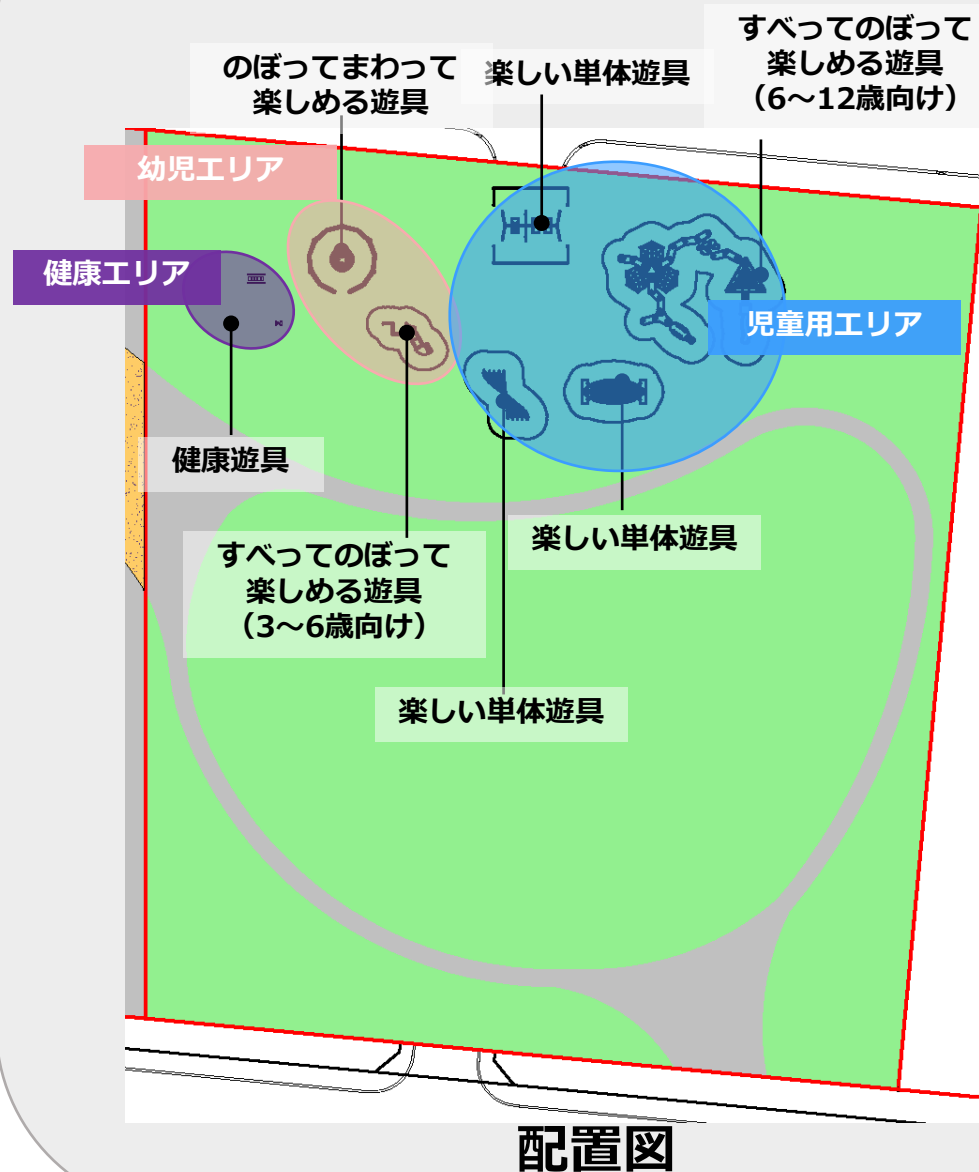
2位/7個中

若草小学校の児童を対象に項目別に遊具のランキングをアンケートにて調査した。
その結果を踏まえて、4つの案を提案します。

多世代利用とインクルーシブ

配置案

**幼児エリア・児童エリア・健康エリアで分け
安全性を確保した**

[illegible]

7位/7個中

目次

1.全体計画の考え方	…P1
2.遊具について	…P2
3.休憩空間について	…P6
4.築山について	…P7

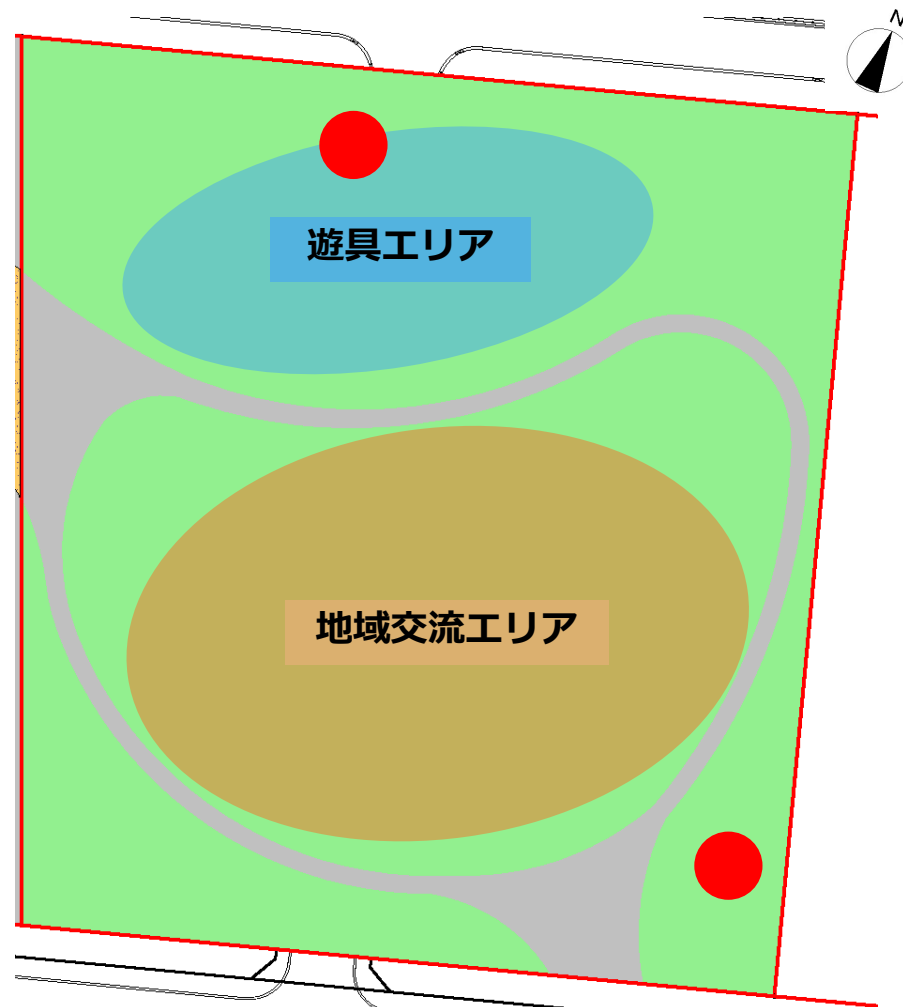
■ ベンチ・東屋について

休憩できるよう、東屋（テーブル付き）を2基、ベンチを6基用意しますが、どこに配置するのが最適でしょうか。

※ベンチは、それぞれのエリアにとって使い勝手を考慮し、園路沿いに配置することとします。



①案 想定利用者をわける



遊具で遊ぶ子供を親が見守れる環境や高齢者も気軽に利用できる配置とした。

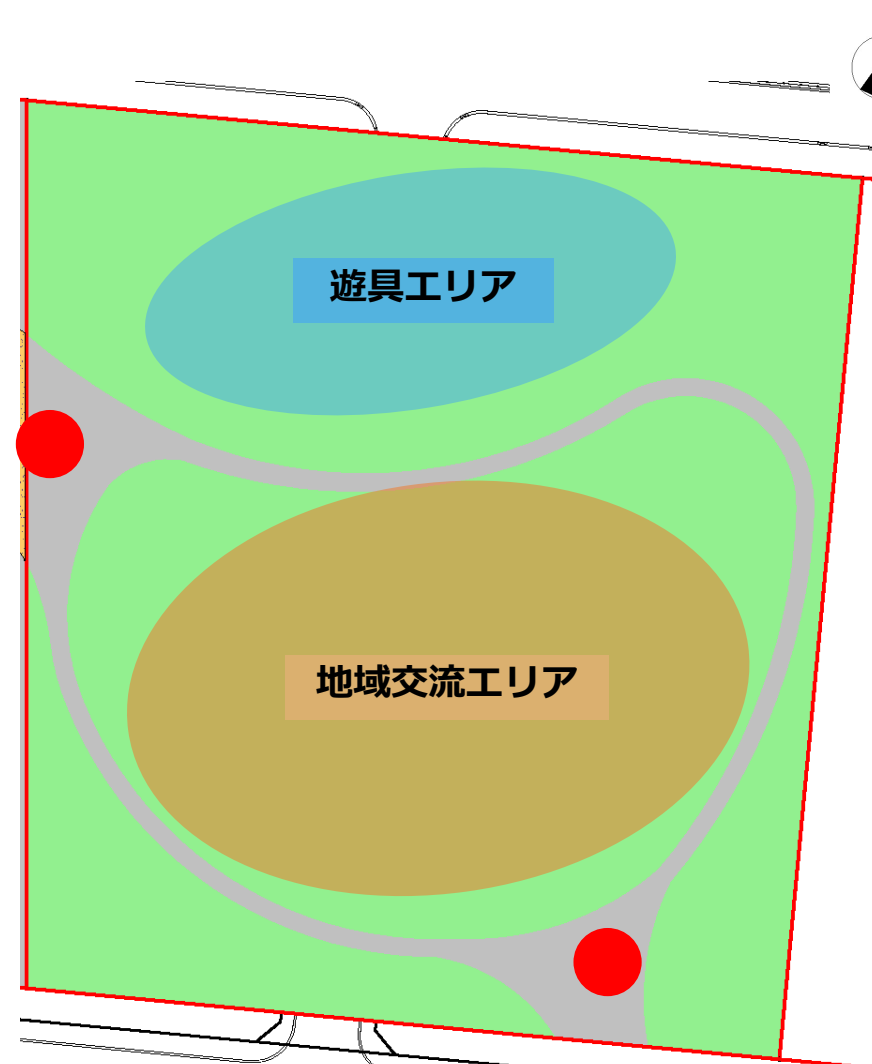
■ メリット

- ・ 用途が明確
- ・ 保護者が見守りやすい

■ デメリット

- ・ 遊具エリアの東屋の利用が偏る

②案 園路内



もっとも人の動線が多い園路沿いに配置し、利用しやすい配置とした。

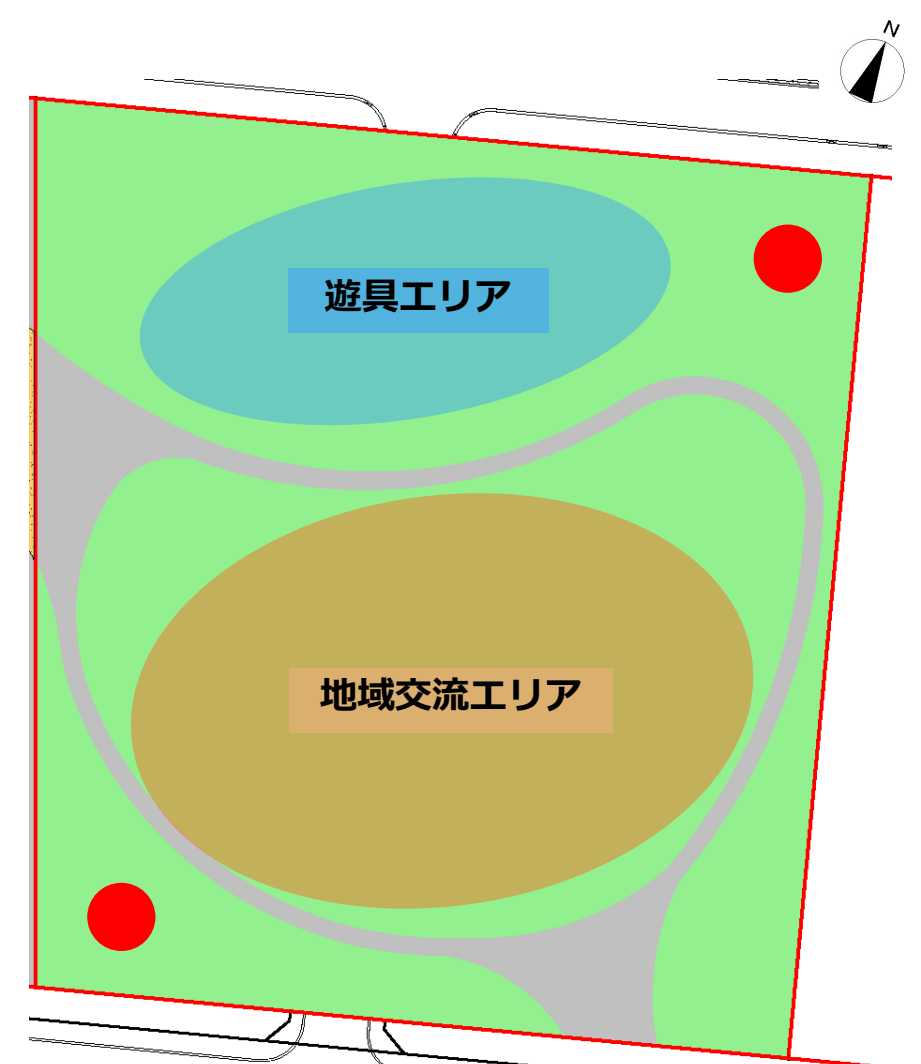
■ メリット

- ・ どこからでもアクセスしやすい
- ・ 利用率が高くなる

■ デメリット

- ・ 利用者同士の干渉が多く、混みあう
- ・ 自転車通行等人の通行と交差し、安全性が低下

③案 公園外側



静けさが確保できる公園外側に配置した。

■ メリット

- ・ 静かに休憩できる

■ デメリット

- ・ 遊具との距離があり、見守り性は低い
- ・ 賑わいから離れる

目次

1.全体計画の考え方 …P1

2.遊具について …P2

3.休憩空間について …P6

4.築山について …P7

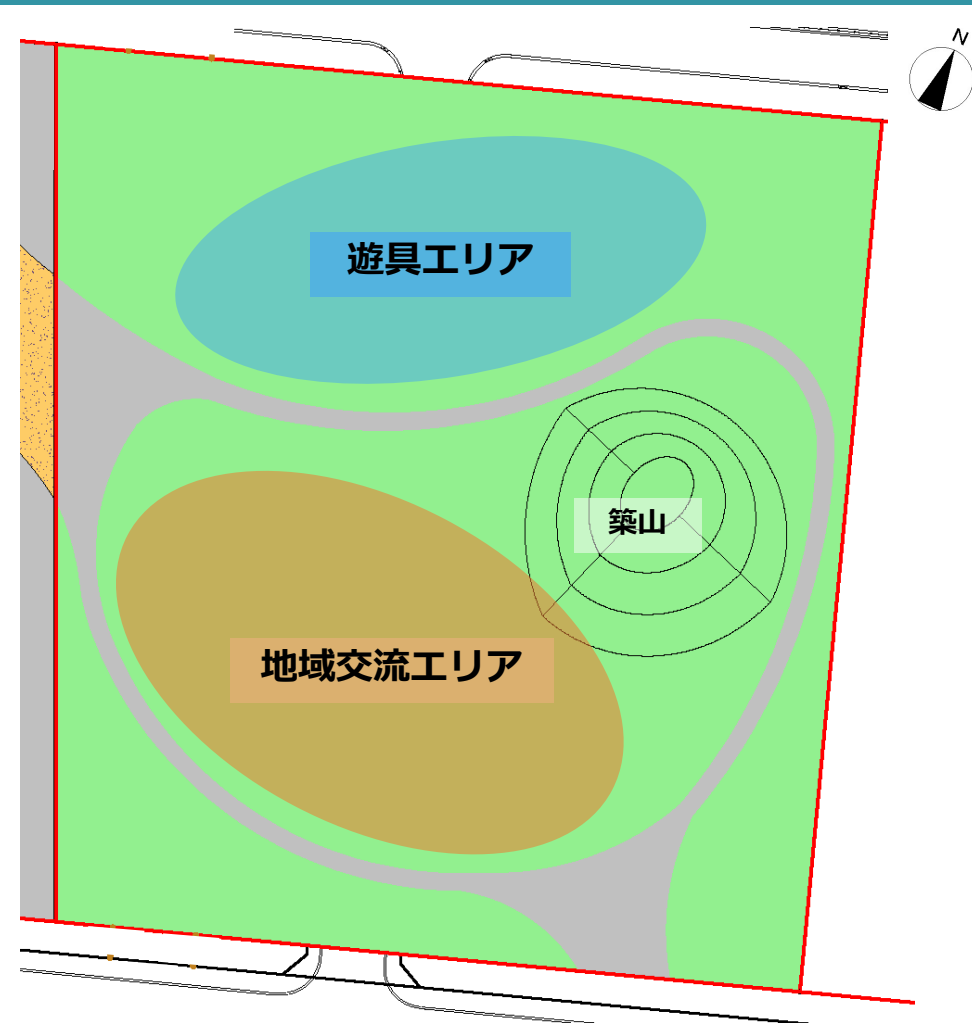


現かしわぎ公園の築山

■ 現かしわぎ公園を継承するため、同程度の築山をつくる場合、公園内のどこに配置しますか

※築山周辺の安全を考慮し、最も敷地面積に余裕のある園路内のエリアで配置を検討する。

①案 北東側



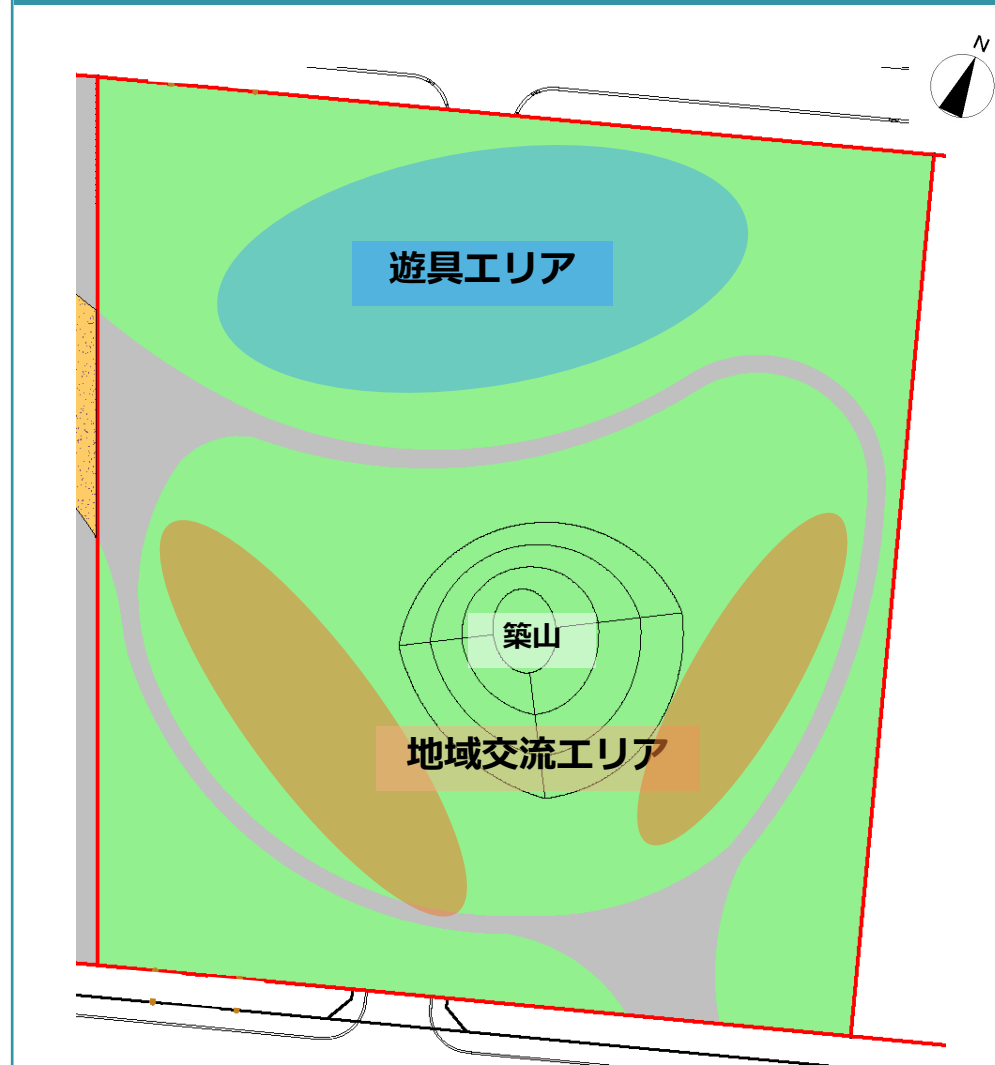
■ メリット

- ・ 公共施設側から見通しがよく、公共施設と連携し、一体的利用が見込める
- ・ 地域交流エリアを広く活用できる
- ・ 地域交流エリアをイベントなどの多目的に使用でき自由度が高い

■ デメリット

- ・ 築山裏側（敷地北東側）の利用がしづらくなる

②案 中央



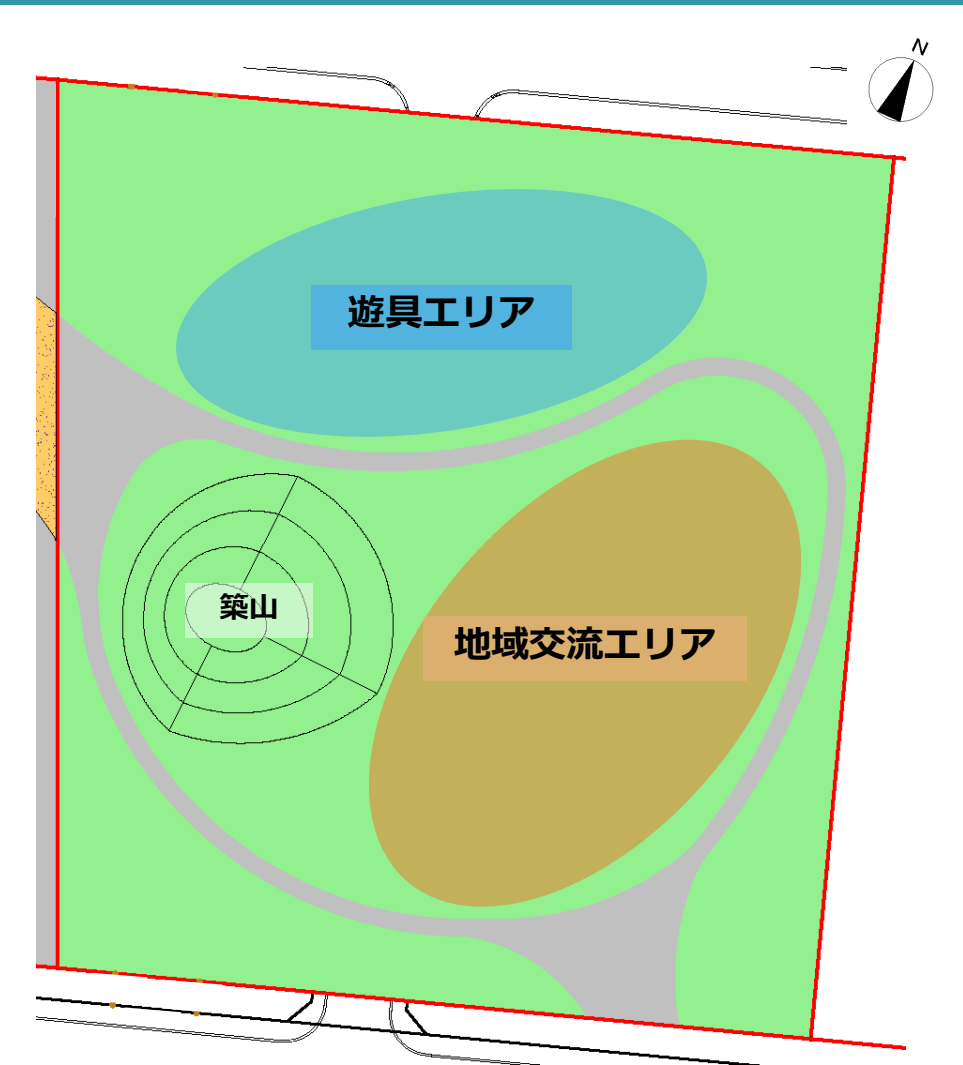
■ メリット

- ・ どの方向からも利用しやすい
- ・ シンボル性が高まる

■ デメリット

- ・ 地域交流エリアが分断され、イベント等の活用において使用しづらい
- ・ 見通しが悪くなる

③案 公共施設側



■ メリット

- ・ 地域交流エリアを広く活用できる。
- ・ 地域交流エリアをイベントなどの多目的に使用でき自由度が高い

■ デメリット

- ・ 公共施設側から見通しが悪く、一体的な利活用が見込めない